

家庭科学習指導案

指導者 浦上 千歳

日時 平成 29 年 11 月 18 日（土） 第 2 校時（11：05～11：55）

年組 中学校第 3 学年 2 組 計 20 名（男子 9 名，女子 11 名）

場所 中学校家庭教室

単元 「地域の食材と食文化」

単元について

2020 年に、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京 2020 大会」という）が行われることは、日本国民のほとんどが知るところである。東京都においては、都内全ての幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校および特別支援学校を対象に 2016 年 9 月から「東京 2020 オリンピック・パラリンピック教育」を実施している。これからの 3 年間は、東京 2020 大会に関わって、世界各国の人々が日本に多く訪れることが予想され、生徒たちはこれまでに習得したグローバルな資質・能力をいろいろな場面で発揮し、実践できる絶好の機会を得ることになる。本教材「東京 2020 大会」を扱うことは、自国開催のオリンピックを通して、世界の人たちとつながりたいと思わせ、食文化を通して自分たちが世界とつながれる視点を持たせることができる所に価値があると考えられる。

本学級の生徒は、家庭科の学習に対する関心がおおむね高く、意欲をもって取り組むことができている。これまでの 2 年間で、「食生活と自立」の領域の学習は終えている。東京 2020 大会への関心は、他国で開催されるオリンピックと何ら変わりはなく、自国開催を意識していない。ましてや、そこに関わる自分など考えたこともない生徒が半数を占める。

指導にあたっては、東京 2020 大会についての情報を与えることで、社会の中での東京 2020 大会への取り組みは、家庭科で扱う衣・食・住・消費と関わりがある事に気づかせたい。同時に、生涯において自国で開催されるオリンピックは、自分にとって貴重な経験であり、価値ある経験である事を意識させた上で、そこに関わる手立てを、食の分野からアプローチした。具体的には、広島を合宿地として決定した、メキシコに焦点を当て、メキシコ選手へのおもてなしに欠かせない食分野からのアプローチを考えさせる。また、食文化を世界規模で考えると広くなりすぎるため、主食に焦点を当て、メキシコのみならず、各国の選手へのおもてなしへも広げられるようにしたい。

指導目標

1. 東京 2020 大会が、家庭科で扱う衣・食・住・消費と深く関わっていることを通して、自国開催を意識させる。
2. 東京 2020 大会で、世界の食文化を意識しながら、他国の人たちと関わろうとする自分の姿をイメージできるようにする。

指導計画（全 3 時間）

1. 東京 2020 大会について知ろう
世界の主食を知ろう〔ネット検索&発表・交流〕…………… 2 時間（1 / 2 本時）
2. トルティーヤを使った給食メニューを考えよう…………… 1 時間

本時の目標

食文化を通して、東京 2020 大会と関わるため、興味を持って調べることができる。

学びを豊かにするための手立て

生徒自身が意識化していない、東京 2020 大会を題材として取り扱ったことが、第一の手立てである。また、調べ学習の場面で、タブレットを各班 2 台準備して活動させる。教室内で x Sync とインターネットを活用することで時間を短縮でき、発表では写真も示すことができる。いろいろな機器を活用することで、グループワークを円滑にして、生徒の学びを深められるように環境整備していることが、第二の手立てである。

学習の展開

学 習 活 動 と 内 容	指導上の留意点（◆評価）
□東京 2020 大会への関心度を確認する。	○（事前に）簡単なアンケートを記入させる。 ○質問ごとに挙手させ、多くが関心が薄いことを確認させ、安心感を与える。
□オリンピックミニクイズにチャレンジする。 ・東京大会は、第何回目？ ・前回の日本での開催はいつだった？ ・参加国数は？参加人数は？ ・東京大会で広島を合宿地にする国は？ □東京 2020 大会に向けた社会の動きを知る。 ・衣生活に関わる動き シンボルマークと日本の伝統文化（江戸小紋）の 関係について ・住生活に関わる動き 大会会場の建設や合宿地などについて ・消費生活に関わる動き 大会マスコット、コラボグッズ、記念イベントな どについて	○オリンピックに関する知識が少ないことを認識させる。 ○オリンピックが世界規模の大きい行事である事に気づかせる。 ○写真や新聞記事など、自分たちの生活にあることで生徒が気づいていない事を紹介する。 ○衣生活について知らせる。 ○住生活について紹介する。 ○消費生活について紹介する。
□東京 2020 大会に関わって、食生活の面から予想されることを出し合う。 □世界の主食分布を知り、その食べ方を調べる。 ・1つのグループで、割り当てられた国について調べる。 （主食は何か？どのようにして食されているか？） ※2時間目の最後に、班ごとにそれぞれが得た情報を、写真を示しながら発表して、全体で共有する。	○日本に来た外国人が、困りそうなことや気遣いできることなどを想像させる。 ○各班に、オリンピック参加国を割り当てる。 ○各班 2 台ずつタブレットを使用させ、国別記入カードを作成させる。 ○国の分担をあらかじめ穀物別に振り分けておくことで、内容が深まるようにする。 ◆興味を持って調べることができている。 【生活や技術への関心・意欲・態度】